

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 079	提案機関名 神奈川県酪農業協同組合連合会
要望問題名 湿害に強い飼料用のトウモロコシの品種の作出	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 世界的な穀物需給のひっ迫による飼料の高騰は畜産経営、特に酪農経営では危機的な状況となっている。飼料の自給率を高める方策として、飼料用トウモロコシは、稲の茎葉を含めた収穫量に対し2倍から3倍の収穫量が見込まれ、自給飼料の確保には欠かせない作物である。しかし極めて湿害に弱く、水田や水田転作地においては湿害により根腐れを起し、収穫は難しい。そこで水田転作作物として利活用を図るため、湿害に強い飼料用のトウモロコシの品種を作出していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	子実用あるいは飼料用トウモロコシの育種には、その材料となる多くの育種資源（系統）をもち、その品種の作出には長い年月が必要です。その成果品として農研機構や民間種苗会社から新品種は生まれてきております。残念ながら、当所にはトウモロコシを育種できる系統がありません。 一方、農研機構を中心に、水田転作農地の利用に向けた子実用トウモロコシの取組があります。そういった中から、湿害耐性に優れた品種の作出が期待されますので、情報の収集に努めてまいります。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			